

塩竈市独自の小中一貫教育

義務教育9年間で、すべての子どもたちに「社会をたくましく生き抜く力」を身に付けさせます。

《小中一貫教育の取組方針》

「一人一人の発達・成長を支え、一人も見捨てることなく、良さや可能性を伸ばす教育」を行う

- 小・中学校の「学びの連続性」を高め、教育活動の質的向上を目指します。
- 「中1ギャップ」等の発達上の段差に適切に対応し、学力向上と不登校問題の解消に取り組みます。
- 中学校区単位で、多様化・複雑化する教育課題に協動的に取り組みます。

活躍

塩竈市幼保小連携事業

「小1プロブレム」への対応

- ・ 授業中に立ち歩く
- ・ 話を静かに聞けない
- ・ 床に寝そべる
- ・ 身勝手な行動や言動

幼稚園・保育所等と小学校との滑らかな接続を図るために、次のカリキュラムを作成・実施します。

アプローチカリキュラム

…幼稚園や保育所年長後半の指導計画

スタートカリキュラム

…小学1年生入学当初の指導計画

専門家を派遣

幼保小の連携強化を図るために、小学校入学に向けた学びの基礎づくりを支援します。

交流

塩竈市学力向上プラン

どの子にも「できる・分かる」喜びを味わえる授業づくり

アクティブラーニング^{※1}とユニバーサルデザイン^{※2}の視点で授業改善を行います。

授業の中に「活躍する場」と「交流する場」を設定

授業の中の様々な交流の例

児童生徒間交流

…学校内の異年齢交流や中学校区内の学校間交流など

教師間交流

…中学校区内の相互乗り入れ授業^{※3}や小中合同授業など

中学校区単位の交流活動

- ・ 小・中学生合同の挨拶運動
- ・ 中学生が小学校のサマースクール支援
- ・ 中学生が母校で清掃ボランティア 等

- ・ 小・中教員による異校種でのワンデイ研修
- ・ 中学校区合同研修会
- ・ 中学校区合同研究授業 等

- ・ 中学校区の児童生徒による合同行事
- ・ 学校・家庭・地域が一体となった取組 等

※1：教員による一方的な講義形式の授業ではなく、学習者の主体的な学習への参加を取り入れた教授法（主体的・対話的で深い学び）

※2：すべての児童生徒にとって、参加しやすい授業づくり・分かりやすい授業づくりを行うという考え方

※3：小・中学校の教員が、互いに異校種の学校で授業を行うこと



吹奏楽部が小学校を訪問



児童会の活動を中学校で紹介



中学校英語の先生が小学校へ

一貫教育のキーワードは「活躍」と「交流」

成功体験の積み重ねによる自尊感情の高揚



中学生が小学校で挨拶



中学生による母校での清掃活動

塩竈市が小中一貫教育を実施するねらいは何ですか。

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた中で、社会の変化に主体的にかかわり、社会において自立的に生きていくための力強いエンジン（社会をたくましく生き抜く力）を、義務教育9年間で、一人一人の児童・生徒の中につくりあげることを目指すものです。

塩竈市の目指す小中一貫教育制度とはどのようなものですか。

組織上独立した小学校及び中学校が、現行制度（義務教育6・3制）の枠の中で一貫した教育課程を編成・実施する「小中一貫型小・中学校」の体制及び「施設分離型」の施設形態により、系統的・連続的で一貫性のある教育を推進していきます。

社会をたくましく生き抜く力を育成する流れ

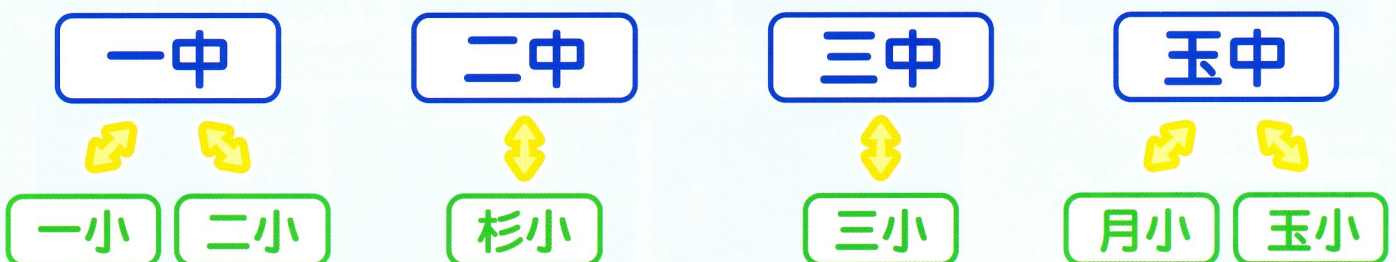


小中一貫教育を進める各中学校校区

これまでの学区と施設を存続させたままの「施設分離型」一貫教育を進めます。

小・中学校共通の目指す子ども像

義務教育9年間で系統性・連続性のある一貫した教育活動



※浦戸小中は平成27年度から施設一体型小中一貫校となりました。

※二小からは一中と二中に進学しますが、当面一中との一貫教育を進めます。

塩竈市学力向上プラン

塩竈の子どもたちに、次のような力を身に付けさせます

- (1) 「社会をたくましく生き抜く力」の基礎となる「生きて働く知識・技能」
- (2) 他者と協働し、課題を解決する「思考力・判断力・表現力等」
- (3) 学習や生活の場面で道具として活用される「見方・考え方」
- (4) 生涯にわたって主体的・能動的に学び続ける「学びに向かう力・人間性」

活躍

授業づくり

「できる・分かる」喜び

アクティブ・ラーニング^{※1}の視点を取り入れた授業改善を行います。
ユニバーサルデザイン^{※2}の視点を取り入れた授業改善を行います。

交流

児童生徒間交流を推進します。

- ・学校内の異年齢交流
- ・中学校区内の学校間交流

教師間交流を推進します。

- ・中学校区内の相互乗り入れ授業
- ・小中合同授業

教師の研修

教師の研修を充実させ、効果的な授業づくりを推進します。

学ぶ意欲と姿勢づくり

学びに向かう力

学ぶ意義を明確にし、生涯にわたって自らの才能を引き出し主体的・能動的に学び続ける力を身に付けさせます。

しおがま学びスタンダード

話し方や聞き方など、学ぶための基礎・基本となる望ましい学習ルールを統一して定着させます。

読書活動

学力向上の基礎となる思考力・判断力・表現力を育む読書活動を推進します。

主体的な学習態度や学習習慣形成

児童生徒の主体的な学習態度や学習習慣形成のため、「放課後学びの支援の時間」や「しおがまサマースクール」等を推進します。

交流

家庭における学習環境づくり

学校・家庭・地域

学校・家庭・地域が一体となった「学びの環境づくり」を推進します。

基本的生活習慣

学校と家庭が協力しながら、基本的生活習慣づくりと学習習慣の定着に取り組みます。

メディア・スマホ依存対策

学校と家庭が連携し、メディア・スマホ依存対策に取り組みます。

家庭教育の充実

家庭教育について学び考える機会を提供します。

塩竈市小中一貫教育との関連

- ① 9年間の学びの連続性を確保
- ② 交流を取り入れた質の高い深い学びを実現
- ③ 授業の中でできるだけ多くの活躍の場を設定

取組方針・具体的な取組

※1：教員による一方向的な講義形式の授業ではなく、学習者の主体的な学習への参加を取り入れた教授法。（主体的・対話的で深い学び）
※2：すべての児童生徒にとって、参加しやすい授業づくり・分かりやすい授業づくりを行うという考え方。